



# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

- 1.1. 製品名 : 石原トリフミン水和剤 (トリフルミゾール水和剤)  
1.2. 用途 : 殺菌剤  
1.3. 会社情報 : 会社名 石原産業株式会社  
住所 大阪市西区江戸堀 1 丁目 3 番 15 号  
担当部門 三重県四日市市石原町 1 番地  
石原産業株式会社環境・安全衛生統括部  
電話: 059-345-6205 FAX: 059-345-6206  
1.4. 緊急連絡先 : 石原産業株式会社 バイオサイエンス営業本部 生産技術部  
電話: 059-345-6118 FAX: 059-345-6180  
1.5. 作成日 : 1995 年 9 月 5 日  
改訂日 : 2016 年 6 月 1 日④

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1. GHS 分類

#### 物理化学的危険性:

爆発物	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

#### 健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(長期間)	区分2
オゾン層有害性	分類できない

## 2.2. ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 警告

危険有害性情報:	H302	飲み込むと有害
	H401	水生生物に毒性
	H411	長期的影響により水生生物に毒性

注意書き:

### 【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

P264	取扱い後は手をよく洗うこと。
P270	この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
P273	環境への放出を避けること。

### 【応急措置】

応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。

P301+P312	飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
P330	口をすすぐこと。
P391	漏出物を回収すること。

### 【保管】

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

### 【廃棄】

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501	内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。
------	---------------------------------------

## 2.3. その他の危険有害性: 特になし

## 3. 組成及び成分情報

3.1. 化学物質・混合物の区分: 混合物

### 3.2. 成分

一般名	トリフミゾール	界面活性剤等	
化学名	(E)-4-クロロ- $\alpha, \alpha, \alpha$ -トリフルオロ-N-(1-イミダゾール-1-イル-2-プロポキシエチリデン)-o-トルイジン	含水非晶質 二酸化ケイ素	その他
含有率	30.0%	1.5%	68.5%
官報公示整理番号 化審法	5-5717	(1)-548	全成分登録保証
官報公示整理番号 安衛法	8-(2)-1079	公表	全成分登録保証
CAS No.	68694-11-1	112926-00-8	ノウハウのため非公開

## 4. 応急措置

### 4.1. 応急措置の記載

- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診察／手当を受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。  
漏出物を回収すること。

4.2. 最も重要な兆候及び症状 : データなし

4.3. 医師に対する特別な注意事項 : データなし

## 5. 火災時の措置

- 5.1. 消火剤 : 粉末・炭酸ガス・泡消火剤, 霧状の水
- 5.2. 特有の危険有害性 : 燃焼時、有毒ガス(HCl, HF, NO<sub>x</sub>等)が発生する。
- 5.3. 消火方法 : 水和性が高いので、散水による消火が効果的である。  
着火源があるときは、強い放水は粉塵を形成し粉塵爆発の恐れがあるので、霧状散水により水和してから大量放水する。  
周辺火災の際、製品を安全な場所に移動できない場合は水による冷却を行う。
- 5.4. 消火を行う者の保護 : 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない有害ガスの吸入を避ける。

## 6. 漏出時の措置

- 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を着用する。  
多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。
- 6.2. 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3. 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合は、湿らせたウエス等で飛散物をふき取って、容器に回収する。多量の場合は、粉塵が飛散しない方法で掃き集め、できるだけ空容器に回収する。回収した後は、多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 7.1. 取扱いの注意 : 取扱い後は手をよく洗うこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
粉じん／蒸気を吸入しないこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
環境への放出を避けること。  
皮膚、粘膜又は、着衣に触れたり眼に入らないようにすること。  
取扱場所に、関係者以外の立入を禁止すること。
- 7.2. 保管上の注意 : 容器は、直射日光を避け、風通しのよい涼しい屋内に貯蔵する。  
酸化性物質・有機過酸化物など同一の場所に置かない。

## 8. ばく露防止措置及び保護措置

- 8.1. 管理濃度 : 設定されていない

- 8.2. 許容濃度 : 日本産業衛生学会  
第3種粉塵 吸入性粉塵2mg/cm<sup>3</sup>, 総粉塵8mg/cm<sup>3</sup>(2015年版)  
ACGIH TLV-TWA  
含水非晶質二酸化ケイ素 10mg/cm<sup>3</sup>(2009年版)
- 8.3. ばく露防止・軽減措置  
設備対策 : 屋内で取り扱う場合は、発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。  
取り扱い場所の近くに安全シャワー・手洗い・洗眼設備を設ける。
- 保護具 : 呼吸用保護具 状況に応じ粉塵用マスク  
保護眼鏡 ゴーグル  
保護手袋 ゴム・塩ビ等の不浸透性手袋  
保護衣 長袖。つなぎ服、前掛け、長靴等の着用を推奨する。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 9.1. 外観等 : 類白色水和性粉末  
9.2. 臭い : なし  
9.3. pH(1%水溶液) : 6.5~8.5(農薬公定検査法)  
9.4. 融点 : データなし  
9.5. 沸点 : データなし  
9.6. 引火点 : 非該当  
9.7. 可燃性 : データなし  
9.8. 自然発火性・水反応性 : なし  
9.9. 自己反応性・爆発性 : 自己反応性なし, 粉塵爆発性:75mg/m<sup>3</sup>(最低)  
9.10. 蒸気圧 : データなし  
9.11. 蒸気密度 : データなし  
9.12. 比重 : 見掛け比重 0.2~0.3(農薬公定検査法)  
9.13. 溶解度 : 水に溶解しないが、良好な分散性を示す。  
9.14. n-オクタノール・水分配係数 : データなし  
9.15. 分解温度 : データなし  
9.16. 粘度 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

- 10.1. 反応性 : データなし(自己反応性なし)  
10.2. 安定性 : 通常の条件下で安定  
10.3. 避けるべき条件 : データなし  
10.4. 混触危険物質 : データなし  
10.5. 危険有害な分解性生物 : 燃焼により、HCl, HF, NO<sub>x</sub> 等が生成する。

## 11. 有害性情報

- 11.1. 急性毒性 : 経口 LD<sub>50</sub> 300<LD<sub>50</sub>≤2000mg/kg(ラット♀)  
経皮 LD<sub>50</sub> >2000mg/kg(ラット♂, ♀)  
吸入 LC<sub>50</sub> データなし
- 11.2. 皮膚刺激性 : 刺激性なし(ウサギ)  
11.3. 眼刺激性 : 弱い刺激性があるが GHS 区分はスコア値から区分外とした。(ウサギ)  
11.4. 感作性 : 皮膚感作性:なし(モルモット)  
呼吸器感作性:データなし
- 11.5. 変異原性 : データなし(トリフミゾールは陰性)  
11.6. 発がん性 : データなし(トリフミゾールは陰性)



# 安全データシート

- 11.7. 生殖毒性 : データなし(トリフミゾールは陰性)
- 11.8. 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし
- 11.9. 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし
- 11.10. 吸引性呼吸器有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

- 12.1. 生態毒性 : 水生環境有害性(急性) コイ LC<sub>50</sub> 4.3mg/L(96 時間)  
オオミジンコ EC<sub>50</sub> 4.6mg/L(48 時間)  
藻類 EbC<sub>50</sub> 12.1mg/L(72 時間)

\* 本剤は水生生物への毒性があるので、河川等へ流入しないよう注意する。

- 12.2. 残留性・分解性 : データなし
- 12.3. 生態蓄積性 : データなし  
トリフミゾール: 高濃縮性, BCF(コイ/60 日) 955(0.6µg/L), 725(6µg/L)
- 12.4. 土壤中の移動性 : データなし
- 12.5. オゾン層への有害性 : 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

- 13.1. 内容物の廃棄 : そのまま可燃性溶媒に溶解し、アフターバーナー及び排ガススクラバー付き(洗浄剤:アルカリ)の産業廃棄物焼却炉で焼却する。
- 13.2. 容器の廃棄 : 洗浄水は河川などに流さず、空容器等は焼却等により、魚介類に影響を与えないように処理する。

## 14. 輸送上の注意

### 14.1. 国際規制

- 国連番号 : 3077
- 国連分類 : 9
- 包装等級 : III
- 品名 : Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.(トリフミゾール)
- 航空規制情報 : ICAO, IATA の規制に従う
- 海上規制情報 : IMDG Code の規制に従う
- 海洋汚染物質 : 該当

### 14.2. 国内規制

- 陸上規制情報 : 該当しない
- 航空規制情報 : 航空法の規制に従う
- 海上規制情報 : 船舶安全法の規制に従う

### 14.3. 特別の安全対策

- : 定められた密閉の容器に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよう積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。

## 15. 適用法令

- 農薬取締法 : 農薬登録番号 第 16301 号
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 消防法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 第 57 条(表示対象物質) シリカ(第 312 号)  
第 57 条の 2(通知対象物質) シリカ(第 312 号)
- 化審法 : 該当しない
- 化管法 : 第 1 種指定化学物質 該当しない  
第 2 種指定化学物質 該当しない

## 16. その他の情報

石原の農薬(石原産業株式会社)

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス株の全国の支店のうち、農家の皆様の最寄りの事業地にかかるようになっています。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話 (大 阪) 072-727-2499(情報料無料)

365日 24時間対応

(つくば) 029-852-9999(情報料無料)

365日 9~21時対応

中毒110番 医療機関専用有料電話 (大 阪) 072-726-9923(1件 2000円)

365日 24時間対応

(つくば) 029-851-9999(1件 2000円)

365日 9~21時対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しています。

### 記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。